

## Life-changingな価値を 継続的に創出できる会社を目指し、 CSV経営を実践します

向き合う人々が「生活が劇的に良くなった」と感じて笑顔になる、そのようなLife-changingな価値を継続して創出できる会社を目指します。

ひとりでも多くの人に笑顔を届けるため、当社が創製しグローバルで開発中の抗OX40完全ヒトモノクローナル抗体KHK4083について、本年6月に米国アムジェン社と開発・販売に関する提携契約を締結しました。本剤はアトピー性皮膚炎の新たな治療選択肢となりうるユニークな作用機序をもつ開発品であり、また、その他の自己免疫疾患等に対する治療薬の可能性も期待できる開発品です。この提携により、当社はアムジェン社より契約一時金として400万ドル、条件に応じたマイルストーンとして最大850万ドル、および、日本以外の地域での売上に対するロイヤルティを受け取ります。現在第2相臨床試験が終了しており、来年第3相臨床試験を開始予定です。

Life-changingな価値の創出を目指す一方で、気候変動や生物多様性の確保、様々な格差など、私たちは多くの社会課題にも直面しています。当社は、医薬事業を通じて病気で苦しんでいる人々に貢献するとともに、持続的な成長をするためにも、SDGs（持続可能な開発目標）に基づく社会要請に真摯に取り組んでまいります。

協和キリングループは、CSV経営を実践する製薬企業として、全社員の力を一つにして世界の人々の健康と豊かさにご貢献してまいります。皆様の変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。

## 会社情報・株主メモ (2021年6月30日現在)

### 会社概要

会社名 協和キリン株式会社  
所在地 〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目9番2号  
(大手町フィナンシャルシティ グランキューブ)  
設立 1949年7月1日  
資本金 26,745百万円  
従業員数 5,700人 (連結ベース)  
事業内容 医療用医薬品の研究・開発・製造・販売および輸出入等

### 役員

代表取締役社長	宮本 昌志 *1	常勤監査役	小松 浩
代表取締役副社長	大澤 豊 *1	常勤監査役	上野 正樹 *3
取締役副社長	三箇山 俊文 *1	監査役	井上 雄二 *3
取締役	横田 乃里也	監査役	桑田 啓二
取締役	森田 朗 *2	監査役	谷津 朋美 *3
取締役	芳賀 裕子 *2		
取締役	新井 純 *2		
取締役	小山田 隆 *2		

\*1 執行役員兼務 \*2 社外取締役 \*3 社外監査役

### 株式の状況

発行可能株式総数 987,900,000株 株主数 30,440名  
発行済株式の総数 540,000,000株

### 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
キリンホールディングス株式会社	288,819	53.75
日本スタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	43,926	8.18
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	23,963	4.46

### 株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで  
定時株主総会 毎年3月  
基準日 定時株主総会・期末配当 毎年12月31日  
中間配当 毎年6月30日  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社  
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
および電話照会先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
フリーダイヤル 0120-782-031  
(受付時間) 土日休日を除く9:00~17:00  
公告方法 電子公告の方法により行います。  
ただし、やむをえない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。  
公告掲載の当社ウェブサイト  
https://ir.kyowakirin.com/ja/  
証券コード 4151

当社ウェブサイトはこちらから スマートフォンをお使いの方は  
右記のQRコードから当社WEBサイトにアクセスいただけます。



## TOP MESSAGE | トップメッセージ



協和キリン株式会社 代表取締役社長 宮本 昌志

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

協和キリンは、ライフサイエンスとテクノロジーの進歩を追求し、新しい価値を創造することで、世界の人々の健康と豊かさにご貢献し、それにより会社としても成長するCSV経営を目指しております。前中期経営計画では日本発のグローバル・スペシャリティファーマへの飛躍を目指し、一定の成果を上げることができました。グローバル戦略3品の欧米上市に成功し、それに続く開発パイプラインの臨床試験も着々と進んでおり、研究パイプラインも充実しつつあります。

本年、新中期経営計画とともに、「イノベーションへの情熱と多様な個性が輝くチームの力で、日本発のグローバル・スペシャリティファーマとして病氣と向き合う人々に笑顔をもたらすLife-changingな価値の継続的な創出を実現する」という2030年に向けた新たなビジョンを掲げました。満たされていない医療ニーズを見出し、それに応えるための新たな薬やサービスを創造し提供することで、病氣と

# KYOWA KIRIN REPORT 2021

2021年1月1日 ▶ 2021年6月30日

証券コード：4151

## 連結決算ハイライト (IFRS)

	2021年 (第2四半期)	2021年 (通期予想)
売上収益	1,650億円 (前年同期比 4.6%増)	3,510億円
売上総利益	1,238億円 (前年同期比 5.9%増)	2,700億円
コア営業利益	309億円 (前年同期比 10.2%減)	650億円
四半期利益	251億円 (前年同期比 9.8%減)	500億円

### 当第2四半期のポイント

日本の売上収益は、クリースビータなどの新製品群が伸長しましたが、2020年4月および2021年4月に実施された薬価改定の影響に加え、一部製品の共同販売等終了の影響により、合計54億円の減収となりました。

一方で海外の売上収益は、当社がグローバル戦略品と位置づけるCrysvita、Poteligeo、Nourianzが順調に伸長し、合計97億円の増収となりました。

その他の売上収益は、ベンラリズムブの売上ロイヤルティの増加に加え、本年3月にアーヴィ社と抗LIGHT抗体の権利許諾契約を締結したことに伴い一時金収益が発生したため、合計28億円の増収となりました。

これらの結果、売上収益は72億円の増収、売上総利益は69億円の増益となりましたが、グローバル戦略品の価値最大化、開発パイプラインの進展・充実、および競争力あるグローバルビジネス基盤の早期確立に向けた経費の増加により、コア営業利益は35億円の減益となりました。

なお、増収増益を目指す通期予想に対しては、計画どおり順調に進捗しています。

## 特集

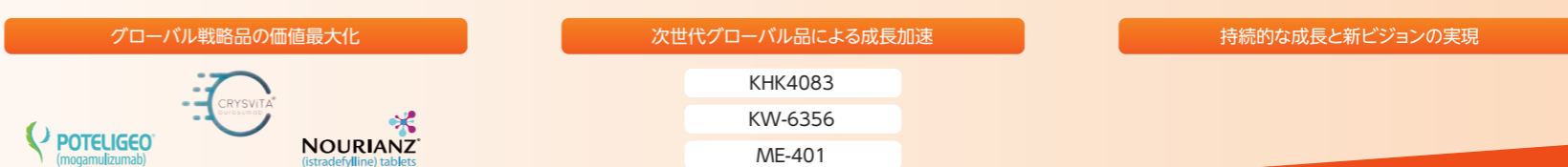
### Life-changingな価値を目指して

協和キリンは2021年2月、新たな中期経営計画を発表しました。



### 中長期の展望

グローバル戦略品の価値最大化に加えて、次世代グローバル品の開発を成功させることで、持続的な成長と新ビジョンの実現に繋げてまいります。



グローバル戦略品拡大による成長の牽引

既存製品および今後のローカル製品上市による事業収益の確保